

# 広報 ニセコ

昭和54年4月1日発行

No. 206

ニセコ町役場総務課

希望に生きるたくましい町民となりましょう。(ニセコ町民憲章)



たいせつに保存を  
あとでお役に立ちます。

## — 予算特集 —

滋賀県マキノ町と昨年8月末に姉妹都市の調印を終えておりましたが、スキー愛好者の視察団一行が3月10日に来町し、町民センターで交流会をその後、中学校、有島記念館などを見学し、翌日は、モイワ、アンスプリスキー場で地元の体育協会役員の案内でスキーを楽しんだ後12日に離町しました。

交流会では、マキノ町として今年の夏にはPTAの行事として、児童生徒の派遣も計画していることに対しニセコ町も将来は中学生を派遣したいとの発言があり、ついで児童生徒の絵画、作文なども交歓したいと希望意見がありました。

また、ことしはマキノ町では雪が20cmしか降らず、ニセコの山と雪を持つて帰りたいと羨ましがつておりました。

昭和54年 **4** 月号

# スポーツセンター建設 農地盤整備事業など決まる

第二回ニセコ町議会定例会は三月二十日から三月二十一日の九日間議場において開催され、町水道事業条例の一部を改正する条例、昭和五十四年度町一般会計予算など議案二十三件を審議し、原案どおり可決されました。  
この会議に先だって町長より町政執行方針が述べられましたが、その主な内容をお知らせいたします。

## 町政執行方針

昭和五十四年度の各会計予算を議会に提出するにあたり、町政執行に対する私の所信と基本的な方針について申しあげ、町議会ならびに町民みなさんのご理解と協力をいただきたいと思っております。  
私が町長に三選されました、ここに最初の予算編成するにあたり、私は私の基本理念である、明るく、豊かな、そして住みよい町づくりを今後も目標として、皆さん



の協力を得ながら着実に推進して参りたいと存じます。  
しかしながら、この激動する内外諸情勢のなかでは、地力行政もまた数多くの困難な問題をかかえており、この解決には多くの時間を必要といたします。  
この中で、私は首長として町政をゆだねられた責任を痛感するとともに、この困難な問題を積極的に解決するべく、時代の進展に即応した町政を執行していく決意であります。  
さて、昭和五十四年度の予算編成であります。相変らずの厳しい財政環境下のなかで、緊要な施策については重点的に実施するために、つぎの五本を柱として進めて参りたく予算編成を考えました

### 体育文化の振興 農業生産基盤の確立 生活環境の整備 地域開発の推進 過疎対策の振興

### と畜場事業特別会計では

千七百四十八千円の増となつていますが、特に新たな事業の計画はなく、主なる歳出七・五％は業務管理委託料であります。その他としては、と畜場推肥場四・六％の新設工事と、旧浄化施設の解体工事を計画しています。それに伴う歳入として使用料を見込んでいますが、これでは本会計を維持していく事が困難でありますので、一般会計からの繰入金六百二十七千円を計上いたしました。

次に本年度予算編成にあたり柱となりまして、主なる事項について説明いたします。  
**体育文化の振興**

町民が明るく、しあわせな毎日をおくるためには、心身ともに健康であることが何よりも大切であります。そのためには、町民のみならずが恵まれた木町の自然条件のもとで、進んで自からの健康づくりを取り組むことを強く希望いたします。そのためには四季をとおして体力づくりができるよう、前年基金積立てをし、その準備を進めておりました、ファミリースポーツセンターを次のとおり建設いたします。

- 建設場所 宇富士見九五番地
- 施設構造 鉄骨鉄筋コンクリート
- 造一部二階建
- 建築面積 延二、五六六平方メートル
- 建築費 三億七千七百八十三万八千円

### 農業生産基盤の確立

内外的に変動する農業諸情勢のなかで、本町も多分にみれず純化したとはいえず、若年労働力の都市部への流出、過疎化現象、経営主の労働力の高齢化、後継者問題、出かせぎ等の兼業化等、幾多の問題をかかえております。  
明るい魅力ある農村建設のため本年度から昭和五十八年度までの五ヶ年間、新農業構造改善地区の指定をうけ、積極的にその対策を推進いたします。  
なお、本年度予定されている事業は次のとおりです。

- 土地盤整備事業 四百七十三万四千円
- 近代化施設整備事業 九千二百九十五万四千円
- 集落環境施設整備事業 五千三百三十一万七千円
- 生活環境の整備 二千八百八十三万八千円

地域住民が健康で、快適な文化生活を営みつづける環境を醸成することが行政の基本であり、そのためには住宅の問題、水道の布設整備、生活関連道路の改良舗装、さらには、冬期間における交通確保のための除排雪等、数多くの問題があります。  
本年度も環境整備のため次の事業を考えています。

- 公営住宅の建設 八戸
- 水道の布設整備 四千四百四十七万七千円
- 九百五十万

そのためには、極力消費的経費の節減をはかり、反面投資的経費の増大に留意いたしました。  
その結果、本年度各会計の予算規模は、

- 一般会計 二十億九百八十九万五千円
- (前年比三七・三％増)
- 国民健康保険事業特別会計 二億七千三百八十六千円
- (前年比二〇・五％増)
- 簡易水道事業特別会計 七千六百一十一万九千九百円
- (前年比二三・〇％減)
- と畜事業特別会計 二千六百九十八万八千円
- (前年比六六・二％増)
- となり一般会計と三特別会計では 二十三億八千六百八十八万
- (前年比三二・一％増)
- となりました。
- 次に予算編成の大綱について申しあげます。
- 一般会計では五億四千五百七十七万円の増となっておりますが、歳出の対前年構成比内容で
- 物件費 三千二百八十一万四千円増
- 公債費 三百九十九万三千円増
- 維持補修費 三千六百五十五万九千円増
- 補助費等 百六十八万八千円増
- 二千七百四十二万二千円増

### 町道の整備

本町は山岳豪雪をもつてスキーのメッカと称されているように、自然環境に恵まれ二大公園を擁しそこには温泉があるなどその風光明媚さは他に類が無く、車の発達による交通の利便などから、その開発は期待されております。  
本町としましては、過疎対策の一環として、表裏一体にあるニセコ山系、福井地区の開発を進めるべく、関係機関と協調しながら積極的に推進してまいりました。  
本年度は、それぞれ一部開発に着工されますが全事業の概要は次のとおりです。

- ニセコ山系
- 勤労者憩いの村建設
- 事業主体 雇用促進事業団、北海道、ニセコ町
- 設置場所 センター四七三番地
- 施設内容 遊歩道の広場、キャンプ場の広場、キャンドル、収穫の園、桜紅葉の園、山菜の森、野鳥の森
- 事業費概算 十一億五千四百八十二万二千円
- 建設区分
- 雇用促進事業団 九億円
- (本館、駐車場)
- 北海道 二億円
- (レクリエーション施設)
- ニセコ町 五千四百八十二万二千円
- (進入道路、水道施設)

### 国民健康保険事業特別会計では

国民健康保険事業特別会計では四十六億三千六百五十五千円となっておりますが、歳出の増となつておりますが、歳出の九五・二％を占める保健給付費は、高額療養費支給、老人医療無料化等、各種公費負担制度の実施に伴い年々増加しており、前年対比では四千七百五十二万三千円(二十二・四％)の増となっております。  
しかし、この財源となる国民健康保険税については、できるだけ住民の負担を軽減するべく検討

### 投資的経費

四億八千二百二十五万九千円増となり、この歳入として一般財源の主流をなす地方交付税では四千七百六十万円(対前年比六・九％)の増、町税では一千三百五十八万九千円(対前年比九・一％)の増をみこみました。  
しかし、これだけの投資的事業を実施するためには必然的に借債に依存することとなり、本年度も四億八千七百五十万(対前年比九九・五％)の地方債を見込みました。  
さらに、財政調整積立金から五千万円、ファミリースポーツセンター建設基金から五千万円それぞれ繰入れを行ない、積極的に事業の推進をはかつていくつもりであります。

### 簡易水道事業特別会計では

しかし交付税、地方債につきましても多分に流動的でありまして今後とも執行するにあたり常に変化に対応できるように、財政運営に留意して参りたいと考えています。

### 昭和五十四年度事業費

昭和五十四年度事業費は三億五千九百二十万(三)の増となつております。

### 昭和五十六年八月オープン目標

昭和五十六年八月オープン目標工事着手

昭和五十六年一月オープン目標

福井地区

ゴルフ場建設

事業主体 株式会社ニセコ富士建設場所 宇福井五四七番地

施設内容 十八ホール、クラブハウス、管理事務所

汚水処理施設、散水施設

総事業費 十三億六千八百八十万円

(うち五十四年度事業費三億五千九百二十万)

工期

昭和五十六年八月オープン目標

昭和五十六年一月オープン目標

昭和五十六年八月オープン目標

事業費 四億五千五百円

造成地 宇有島八番地の十二外

面積 二五、三五三平方

次に款をおつて概要を説明いたします。

総務費関係

姉妹都市提携事業四万五千円

昨年八月に滋賀県マキノ町と本町が姉妹都市の提携をしましたので本年はその交流を積極的に推進いたします。

交通安全対策事業

交通事故対策は国をあげての重大問題でありますので、本町も全力をあげており、去る二月十四日には事故死ゼロ千日を達成したばかりでありますので、今後千五百

しました結果十一・六％増にとどまりました。この結果、一世帯当りの平均額は十萬八千四百三十八円となりますが、これでは本会計を維持していくことは甚だ困難でありますので、歳出では極力消費的経費の削減につとめ、歳入では基金からの繰入金八百万円、一般会計からの繰入金六百万円を、それぞれ計上いたしました。

簡易水道事業特別会計では、総額二千二百八十万一千円の減となつておりますが、これは前年度市街地区簡易水道改良事業に、多額の事業費を投入したためのものであり、本年度も歳出では五九・八％が勤労者憩いの村の水道事業等の建設改良費であります。また、その他として量水器百二十六戸の取替工事も計画しています。

歳入では、使用料につきましても前年度市街地区簡易水道改良事業も終了したので、過去二ヶ年据置きました水道料金を、本年度は一般用五百六十円を七百五十円(三三・〇％増)に、営業用八百七十円を千三百円(四九・〇％増)に、その他の料金につきましてもそれぞれ値上げすること予算を計上いたしました。

この結果、使用料では前年当初より六百三十三万三千円(五二・二％)の増となりましたが、この改訂料金でも管内町村間ではまだ最低料金でありまして、これでは本会計を維持していくことが困難でありますので、一般会計からの繰入金千四百七十七万円を計上いたしまし

で、土地開発公社の事業として宅地造成をはかり分譲することにより町民の定住化を図り、過疎の足どめとする考えであります。

誘致した企業

株式会社上田商会

本社 登別市観別町二丁目三番

工場建設場所 宇元町

用地面積 一九、六三五平方

事業規模 屋内作業所及びコン

クリートプラント、

骨材ヤード及び製品

ストックヤード、緑

地帯、道路及び作業

通路

事業費 四億五千五百円

造成地 宇有島八番地の十二外

面積 二五、三五三平方

次に款をおつて概要を説明いたします。

総務費関係

姉妹都市提携事業四万五千円

昨年八月に滋賀県マキノ町と本町が姉妹都市の提携をしましたので本年はその交流を積極的に推進いたします。

交通安全対策事業

交通事故対策は国をあげての重大問題でありますので、本町も全力をあげており、去る二月十四日には事故死ゼロ千日を達成したばかりでありますので、今後千五百



日をめざして強力にその対策を推  
進いたします。

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円  
職員の福利厚生のため、本年度  
も継続して職員住宅二戸を建設い  
たします。

町有林造成事業

七百八十一万八千円  
町の財産づくりとして本年度も  
継続して町有林の下草刈、施肥等  
を実施いたします。

職員厚生研修事業

二百二十万円  
職員の健康管理のため健康診断  
の実施、人間ドックの受診、また  
資質向上のための年二回の場内研  
修、さらには自治研修所主催の各  
研修会への参加、並びに長期研修  
(二ヶ月)の受講を実施してい  
ます。

その他

小花井部落集会所建設補助事業  
四十万円



民生費関係

社会福祉協議会補助事業

三十五万円  
木嶋与四松氏より寄付された金  
員により設置された、社会福祉事  
業基金より生じた利子を、繰入れ  
補助することにより、より以上の  
社会福祉活動を推進したいと考  
えています。

敬老年金支給事業

墓地道路改良事業

三百七十七万円



農林水産業費関係

六百九十二万五千円

衛生費関係

四十八万円

町外入園者助成

四百八十八万円

乳幼児医療費扶助

千五百二十七万六千円

芙蓉荘ろ過機取付工事

六十万円

その他

老人医療費扶助  
四千七百二十九万二千円

保育所保育の充実

百八十九万九千円

児童が心身ともに健やかに生  
れ育成され、さらには、ひとしく  
生活を保障され愛護されるよう児  
童福祉法の理念に基づき、本年度  
から町立保育所保育の充実をはか  
り、現員六名(定員五名)から七  
名とし、うち一名は年間とおし  
た臨時常勤の保育にいたしたいと  
考えています。

墓地駐車場整備事業

二百五十八万円

本町には火葬場一ヶ所と墓地六  
ヶ所ありますが、現火葬場は昭和  
四十二年に建設、灯油バーナー方  
式に改められた約十二年を経過し  
ているので相当破損がはげしく、  
改良したいと考えています。  
また、昨年中墓地造成、区  
画割付けの結果大変好評であ  
るので本年度は墓地道路九十二米  
の改良舗装と駐車場六百十三平方  
米の整備をいたします。

保健婦活動の充実

百八十九万九千円

町民の健康保持と増進する働き  
を営ませるための援助や、健康生  
活から脱落した健康障害者に、再  
び健康生活を復帰させるための、  
専門的指導と援助を行なう保健指  
導者として、本年度は保健婦一名  
を増員し二名の保健婦による町民  
の健康管理に、万全を期したいと  
考えています。

母子栄養強化食品給付

三十五万二千円

予防検診(結核検診外)

百七十一万一千円

じん芥処理関係

四百二十万七千円

し尿処理関係

六百九十二万五千円

農地造成改良事業補助

七十二万円

小規模土地改良事業補助

百五十万円

水田再編対策明暗渠掘削事業補  
助

六十万円

国有地管理事業

百七十四万一千円

商工業費関係

四百九十五万円

商工業者育成、並びに経営指  
導体制の充実をはかるべく、本年  
度も継続して助成いたします。

中小企業振興融資預託貸付事業

三百万円

長いあいだ社会につくしてきた  
老人に、ささやかな贈りものとし  
て一人五千円の年金を七千円に引  
きあげ支給いたします。

老人クラブ補助事業

三十万円  
老人が健康で生きがいのある老  
後をおくれるよう、老人家庭奉仕  
員の活動を活発にし、さらに前年  
度まで二十万円だったクラブ活動  
費を三十万円に増額、補助いたし  
ます。

保育所保育の充実

百八十九万九千円  
児童が心身ともに健やかに生  
れ育成され、さらには、ひとしく  
生活を保障され愛護されるよう児  
童福祉法の理念に基づき、本年度  
から町立保育所保育の充実をはか  
り、現員六名(定員五名)から七  
名とし、うち一名は年間とおし  
た臨時常勤の保育にいたしたいと  
考えています。

その他

老人医療費扶助  
四千七百二十九万二千円

保育所保育の充実

百八十九万九千円

児童が心身ともに健やかに生  
れ育成され、さらには、ひとしく  
生活を保障され愛護されるよう児  
童福祉法の理念に基づき、本年度  
から町立保育所保育の充実をはか  
り、現員六名(定員五名)から七  
名とし、うち一名は年間とおし  
た臨時常勤の保育にいたしたいと  
考えています。

その他

老人医療費扶助  
四千七百二十九万二千円

芙蓉荘ろ過機取付工事

六十万円

乳幼児医療費扶助

千五百二十七万六千円

町外入園者助成

四百八十八万円

衛生費関係

四十八万円

火葬炉改良事業

三百七十七万円

墓地道路改良事業

三百七十七万円

敬老年金支給事業

七百八十一万八千円

職員厚生研修事業

二百二十万円

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円

町有林造成事業

七百八十一万八千円

町産づくりとして本年度も  
継続して町有林の下草刈、施肥等  
を実施いたします。

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円

町有林造成事業

七百八十一万八千円

町産づくりとして本年度も  
継続して町有林の下草刈、施肥等  
を実施いたします。

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円

町有林造成事業

七百八十一万八千円

町産づくりとして本年度も  
継続して町有林の下草刈、施肥等  
を実施いたします。

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円

町有林造成事業

七百八十一万八千円

町産づくりとして本年度も  
継続して町有林の下草刈、施肥等  
を実施いたします。

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円

町有林造成事業

七百八十一万八千円

町産づくりとして本年度も  
継続して町有林の下草刈、施肥等  
を実施いたします。

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円

町有林造成事業

七百八十一万八千円

町産づくりとして本年度も  
継続して町有林の下草刈、施肥等  
を実施いたします。

職員住宅建設事業

千二百三十四万五千円

町有林造成事業

七百八十一万八千円

馬鈴薯種子対策委員会補助事業  
三百万円

シストセンチユウ対策土壤検査  
委託料

三百万円  
本町の基幹作物である馬鈴薯の  
優良な種子を生産確保するため、  
種子生産農家の栽培技術指導、  
また圃場周辺の環境浄化を一体化  
し、シストセンチユウの発生確認  
による感染を事前に防ぐ対策のた  
め、事業費六百八十万円のうち町  
が三百万、農協が三十八万円補  
助するものであります。

また、町単独でシストセンチユ  
ウ対策費として三百万円を計上、  
土壤検査を実施し、シストセンチ  
ユウの潜在を確認、薬剤の散注、  
または輪作体型の確立をはかり、  
その対策に万全を期したいと考  
えています。

トラクター安全フレーム取付事  
業補助

七十五万円  
本町は起伏の多い圃場が多く、  
そのためトラクターによる事故が  
多発していますので過去二年にわた  
り安全フレームの取付けを奨励し  
てきましたが、本年度を最後とし  
て四十馬力以下を対象に、一台に  
つき、町より二万五千円、農協か  
ら二万五千円それぞれ補助して取  
付けを奨励いたします。

高効率集団畑作経営確立対策事  
業補助

千九百五十一万一千円  
輪作体型の確立を基本とする。  
畑作集団に対する総合的機械整備  
を実施するもので、藤山、尾の上  
、北栗部落を対象に昨年から実施  
しており本年度完了したいと考  
えています。

花嫁対策事業

五十九万四千円

農村花嫁対策は、農業後継者育  
成と関連して農家経営の大きな隘  
路となっています。

本年度からその事務局を農業委  
員会に移し、さらに積極的に推進  
していきます。

ニセコ地区農免農道整備事業負  
担金

千五百五十万円

町道西山尾の上連絡線は、昨  
年第一期路盤改良舗装工事(延長  
三、四九八米)が完了しましたの  
で第二期工事として延長一、五  
五六米を、昭和五十四年度から昭  
和五十六年度までに実施するもの  
で本年度は九百米の路盤改良工事  
を

とおります。

なお、有島地区の若山橋上部架  
替事業八十二万円、元町地区深貝  
橋上部架替事業百六十万円も施行  
いたします。

元町田国道路局改良工事

延長 五百三十米  
幅員 五〇米

近藤中央通道路局改良工事

延長 二百五十米  
幅員 五〇米

田下通道路局改良工事

延長 三百六十米  
幅員 五〇米

本通団地一号线道路局改良工  
事

延長 七十米  
幅員 四〇米

尾の上ニセコ縦貫線道路局改  
良工事

延長 五百米  
幅員 五〇米

五十万通道路局改良工事

延長 三百米  
幅員 五〇米

ルベンベ通過道路局改良工事

延長 四百七十米  
幅員 五〇米

西北通線道路局改良工事

延長 三百三十米  
幅員 五〇米

藤山北通道路局改良工事

延長 三百米  
幅員 五〇米

旧宮田農場通道路局改良工事

延長 三百米  
幅員 五〇米

道路台帳作成委託事業

千六百四万五千円

地方交付税算定の数値の基礎に  
なつての道路台帳を、本年も継  
続して改良分十キロ米、未改良分  
三十五キロ米を作成いたします。

道路新設改良事業

二億三千二百五十七万五千円

道路交通網の整備は、住民生活  
の向上や産業振興のうえからも不  
可欠なものであり、町としても重  
要施策の一つとして継続的に実施  
してきました。本年度から主とし  
て部落の町道を積極的に推進する  
べく、次の事業を考えています。

測量設計委託料として、元町田  
国道外八路線で六百二十七万円。

路盤改良並びに舗装工事として、  
二十一路線で二億一千七百六十二  
万円で路線名、延長、幅員は次の  
とおりです。

ニセコ滑降競技大会費

百九十九万円

土木費関係

千九百九十九万円

グレイダー購入事業

(本年度償還分七十二万五千円)

道路維持のため欠くことのでき  
ないグレイダーは、昭和四十四年  
に購入、すでに耐用年数も過ぎ損  
傷も激しいので、備荒資金組合の  
資金千九百九十九万円を借入れ、五年  
(内一年据置)で償還していきま  
す。

農地造成改良事業補助

七十二万円

小規模土地改良事業補助

百五十万円

水田再編対策明暗渠掘削事業補  
助

六十万円

国有地管理事業

百七十四万一千円

商工業費関係

四百九十五万円

商工業者育成、並びに経営指  
導体制の充実をはかるべく、本年  
度も継続して助成いたします。

農業生産組織育成対策事業補助  
十五万円

高効率集団畑作経営確立対策事  
業を達成するために、その組織を  
育成いたします。

土づくり推進協議会補助

二十万円

昭和五十三年七月に協議会を発  
足させ、輪作体型の確立とあわせ  
て緑肥の作目の導入と、圃場副産  
物の有効利用を推進するもので、  
昨年は土づくり啓蒙に努め、本年  
度は各種団体と協議し、その実行  
体制を確立していきます。

営農集団活動促進事業

七十五万円

地域農政特別事業として昨年に  
引き続き実施するもので、農協が事  
業主体となり畜産団体を対象にし  
て活動を促進していきます。

花嫁対策事業

五十九万四千円

農村花嫁対策は、農業後継者育  
成と関連して農家経営の大きな隘  
路となっています。

本年度からその事務局を農業委  
員会に移し、さらに積極的に推進  
していきます。

ニセコ地区農免農道整備事業負  
担金

千五百五十万円

町道西山尾の上連絡線は、昨  
年第一期路盤改良舗装工事(延長  
三、四九八米)が完了しましたの  
で第二期工事として延長一、五  
五六米を、昭和五十四年度から昭  
和五十六年度までに実施するもの  
で本年度は九百米の路盤改良工事  
を

とおります。

なお、有島地区の若山橋上部架  
替事業八十二万円、元町地区深貝  
橋上部架替事業百六十万円も施行  
いたします。

元町田国道路局改良工事

延長 五百三十米  
幅員 五〇米

近藤中央通道路局改良工事

延長 二百五十米  
幅員 五〇米

田下通道路局改良工事

延長 三百六十米  
幅員 五〇米

本通団地一号线道路局改良工  
事

延長 七十米  
幅員 四〇米

尾の上ニセコ縦貫線道路局改  
良工事

延長 五百米  
幅員 五〇米

五十万通道路局改良工事

延長 三百米  
幅員 五〇米

ルベンベ通過道路局改良工事

延長 四百七十米  
幅員 五〇米

西北通線道路局改良工事

延長 三百三十米  
幅員 五〇米

藤山北通道路局改良工事

延長 三百米  
幅員 五〇米

旧宮田農場通道路局改良工事

延長 三百米  
幅員 五〇米

道路台帳作成委託事業

千六百四万五千円

地方交付税算定の数値の基礎に  
なつての道路台帳を、本年も継  
続して改良分十キロ米、未改良分  
三十五キロ米を作成いたします。

道路新設改良事業

二億三千二百五十七万五千円

道路交通網の整備は、住民生活  
の向上や産業振興のうえからも不  
可欠なものであり、町としても重  
要施策の一つとして継続的に実施  
してきました。本年度から主とし  
て部落の町道を積極的に推進する  
べく、次の事業を考えています。

測量設計委託料として、元町田  
国道外八路線で六百二十七万円。

路盤改良並びに舗装工事として、  
二十一路線で二億一千七百六十二  
万円で路線名、延長、幅員は次の  
とおりです。

ニセコ滑降競技大会費

百九十九万円

土木費関係

千九百九十九万円

グレイダー購入事業

(本年度償還分七十二万五千円)

道路維持のため欠くことのでき  
ないグレイダーは、昭和四十四年  
に購入、すでに耐用年数も過ぎ損  
傷も激しいので、備荒資金組合の  
資金千九百九十九万円を借入れ、五年  
(内一年据置)で償還していきま  
す。

農地造成改良事業補助

七十二万円

小規模土地改良事業補助

百五十万円

水田再編対策明暗渠掘削事業補  
助

六十万円

国有地管理事業

百七十四万一千円

商工業費関係

四百九十五万円

商工業者育成、並びに経営指  
導体制の充実をはかるべく、本年  
度も継続して助成いたします。

延長 五百米  
 幅員 五・〇米  
 一号線道路局改良工事  
 延長 三百米  
 幅員 五・〇米  
 真狩旧道線特殊改良第一種工事  
 延長 四百八十米  
 幅員 五・五米

延長 二百二十米  
 幅員 六・〇米  
 新市街北一線道路局改良工事  
 延長 四百五十米  
 幅員 五・〇米  
 旧宮田農場通鋪新設工事  
 延長 三百米  
 幅員 五・〇米  
 一号線通鋪新設工事  
 延長 三百米  
 幅員 五・〇米  
 田下通鋪新設工事  
 延長 三百六十米  
 幅員 五・〇米  
 尾の上ニセコ縦貫線通鋪新設工事  
 延長 五百米  
 幅員 五・〇米  
 藤山北通鋪新設工事  
 延長 五百米  
 幅員 五・〇米  
 本通団地一号線通鋪新設工事  
 延長 七十米  
 幅員 四・五米  
 新市街北一線通鋪新設工事  
 延長 二百二十米  
 幅員 六・〇米

その他  
 重量車庫屋根防水工事  
 六十九万八千円  
 道路河川愛護組合補助五十万円  
 除雪対策事業  
 三十四万九千五百八十八円  
 本通団地窓枠取替事業  
 百一十二万二千円  
 昭和四十年建設の本通団地公営住宅十四戸は、宍村が相当破損していますので、本年度サッシに取り替えたいと考えています。  
 なお、他の住宅についても、防寒上から順次サッシに取り替えるよう計画しています。

公営住宅建設事業  
 四千三百三十七万六千円  
 本町の住宅不足解消のため、本年度は公営住宅八戸を建設いたします。  
 なお、国庫補助対象面積も拡大されましたので、本年度建設する住宅一戸当りの面積は、風呂場付三Rで六十二・九九平方メートルになる予定であります。

次に富士見団地公営住宅ですが、ファミリースポーツセンター敷地との関連から前年一部用途廃止をしましたが、本年度は全部について用途廃止をし、現在の入居者については、本通団地に転居してもらうよう協議済みであります。

また中央団地公営住宅についても、土地付で入居者に分譲するよう現存協議中であります。

消防費関係  
 防火貯水槽建設事業  
 三百五十万円  
 サイレン遠隔吹鳴無線操作機設備事業  
 百五十万円  
 町民の生命財産を火災から守り被害を最小限にとどめるため、継続的に施設の整備充実を図ります。現在、消防の水利充足率は五十四・八%で、本年度は昆布温泉地区に貯水槽を設置するべく関係者と協議中です。  
 なお、現在のサイレンは、有線設備となっており、雷の衝撃でときどき吹鳴しますので、これを解消するために無線操作機を設備することにいたしました。

教育費関係  
 のちほど教育長から本年度の教育に対する考え方を申し上げますが、私としては本年度も学校教育、社会教育の強化充実を十分配慮いたしました。  
 とくに、昭和五十六年度にはニセコ小学校の改築を予定していますが、これには多額の財源を必要といたします。  
 学校の建築規模、敷地、仮校舎教育環境などがめざましく、豊かな情操と強い意志、そしてたくましい身体をもつ健全な人

間形成のための学校教育の場として、もつともふさわしいように今から充分検討していかねばなりません。  
 また、本年度の新しい事業として計上しております藤山地区先住民跡地調査につきましては、今後の調査結果をまたなければ申し上げられませんが、これも貴重な文化遺産として大事に保存していかねばならないと考えています。さらには、町民プール屋根張替工事百八十六万円、公認グラウンド整備工事四十五万二千円などにも意を配りました。

国民健康保険事業特別会計  
 葬祭費給付事業 三十六万円  
 育児手当金給付事業二十四万円  
 簡易人間ドック負担事業 七十七万五千円  
 本会計の主なるものは、保険給付費の二億六千四万三千円（九五・二%）であり、本年度はそのうち葬祭費については一人五千円から一万円に、育児手当金については月額五百円から千円にそれぞれ引上げ給付いたします。  
 また被保険者の一日簡易人間ドックについても前年度に引続き一人三万一千円を給付いたします。

簡易水道事業特別会計  
 有島地区水道布設事業五百万円

中央町内水道改良事業  
 四百五十万円  
 勤労者憩いの村水道布設事業  
 三百六十万円  
 本会計の主なるものは、建設改良費の四千五百五十五万円（五九・八%）であり、本年度は有島地区に水道布設する計画を樹てていますが、本管との落差からみて全地域に対する布設は不可能でありますので、有島部落を主体にした九戸だけ対象に考えています。

また、中央六町内十七戸については、低区配水池との落差から水圧不足で水量が十分でないため、保育所横から公園をとおし途中に減圧槽をもうけ、給水することに管路を変更し、水量不足の問題を解決いたします。

さらに、勤労者憩いの村水道布設については、本年度から本館建設など本格的に着工されますが、本町の誘致条件である進入道路の新設は昨年千三百八十二万円で完成しており、本年度は水道施設を三千六百万円で施工し、昭和五十六年のオープンに間に合せたいと考えています。

なお、これらに要する財源は道費補助八百万円、起債三千五百三十万円でその一般会計から繰入金金を充てております。

以上のほかに、まだ住民から多くの要望がありますが、限られた町村財政の中では自ら限度があり、できるだけ住民の要望に応えるため本年度も国費、道費の導入

を積極的にはかつていきたいと考えています。  
 本年度予定されている国費、道費の事業は次のとおりです。

国営事業  
 ○カシニンベツ地区国営直轄明渠排水事業  
 ○第一カシニンベツ 河川改修 二百四十米  
 ○第二カシニンベツ 橋梁架替 一ヶ所

道営事業  
 ○ニセコ地区農免農道整備事業  
 西山尾の連絡線道路改良工事  
 延長 九百米  
 幅員 七・〇米  
 事業費 九千二百万円  
 ○福井地区農免農道整備事業  
 福井南四号線道路改良事業  
 延長 二千米  
 幅員 七・〇米  
 名無橋架替工事二十一・八米  
 事業費 二千七百万円  
 ○近藤地区過疎農道整備事業  
 光栄通道路改良工事  
 延長 四百四十米  
 幅員 八・〇米  
 事業費 千四百四十万円

道々蘭越ニセコ倶知安線道路改良工事  
 延長 六百五十一米  
 幅員 五・五米  
 （倉地地先ノ道々まで）  
 事業費 七千四百万円  
 ○道々蘭越ニセコ倶知安線道路舗装工事  
 延長 二千四百米  
 幅員 五・五米  
 （倶知安境界ノ北榮に向つて）  
 事業費 六千八百万円  
 ○道々蘭越ニセコ倶知安線道路改良工事  
 延長 六百米  
 幅員 五・五米  
 （藤山小学校ノ蘭越に向つて）  
 事業費 四千万円  
 ○尻別川局部改保工事（用地調査買収）  
 延長 千米  
 事業費 一千万円  
 ○尻別川左岸石崎地先災害復旧工事  
 延長 百十三米  
 連絡ブロック  
 事業費 千四百万円



消防費関係  
 防火貯水槽建設事業  
 三百五十万円  
 サイレン遠隔吹鳴無線操作機設備事業  
 百五十万円  
 町民の生命財産を火災から守り被害を最小限にとどめるため、継続的に施設の整備充実を図ります。現在、消防の水利充足率は五十四・八%で、本年度は昆布温泉地区に貯水槽を設置するべく関係者と協議中です。  
 なお、現在のサイレンは、有線設備となっており、雷の衝撃でときどき吹鳴しますので、これを解消するために無線操作機を設備することにいたしました。

教育費関係  
 のちほど教育長から本年度の教育に対する考え方を申し上げますが、私としては本年度も学校教育、社会教育の強化充実を十分配慮いたしました。  
 とくに、昭和五十六年度にはニセコ小学校の改築を予定していますが、これには多額の財源を必要といたします。  
 学校の建築規模、敷地、仮校舎教育環境などがめざましく、豊かな情操と強い意志、そしてたくましい身体をもつ健全な人

間形成のための学校教育の場として、もつともふさわしいように今から充分検討していかねばなりません。  
 また、本年度の新しい事業として計上しております藤山地区先住民跡地調査につきましては、今後の調査結果をまたなければ申し上げられませんが、これも貴重な文化遺産として大事に保存していかねばならないと考えています。さらには、町民プール屋根張替工事百八十六万円、公認グラウンド整備工事四十五万二千円などにも意を配りました。

国民健康保険事業特別会計  
 葬祭費給付事業 三十六万円  
 育児手当金給付事業二十四万円  
 簡易人間ドック負担事業 七十七万五千円  
 本会計の主なるものは、保険給付費の二億六千四万三千円（九五・二%）であり、本年度はそのうち葬祭費については一人五千円から一万円に、育児手当金については月額五百円から千円にそれぞれ引上げ給付いたします。  
 また被保険者の一日簡易人間ドックについても前年度に引続き一人三万一千円を給付いたします。

簡易水道事業特別会計  
 有島地区水道布設事業五百万円

中央町内水道改良事業  
 四百五十万円  
 勤労者憩いの村水道布設事業  
 三百六十万円  
 本会計の主なるものは、建設改良費の四千五百五十五万円（五九・八%）であり、本年度は有島地区に水道布設する計画を樹てていますが、本管との落差からみて全地域に対する布設は不可能でありますので、有島部落を主体にした九戸だけ対象に考えています。

また、中央六町内十七戸については、低区配水池との落差から水圧不足で水量が十分でないため、保育所横から公園をとおし途中に減圧槽をもうけ、給水することに管路を変更し、水量不足の問題を解決いたします。

さらに、勤労者憩いの村水道布設については、本年度から本館建設など本格的に着工されますが、本町の誘致条件である進入道路の新設は昨年千三百八十二万円で完成しており、本年度は水道施設を三千六百万円で施工し、昭和五十六年のオープンに間に合せたいと考えています。

なお、これらに要する財源は道費補助八百万円、起債三千五百三十万円でその一般会計から繰入金金を充てております。

以上のほかに、まだ住民から多くの要望がありますが、限られた町村財政の中では自ら限度があり、できるだけ住民の要望に応えるため本年度も国費、道費の導入

を積極的にはかつていきたいと考えています。  
 本年度予定されている国費、道費の事業は次のとおりです。

国営事業  
 ○カシニンベツ地区国営直轄明渠排水事業  
 ○第一カシニンベツ 河川改修 二百四十米  
 ○第二カシニンベツ 橋梁架替 一ヶ所

道営事業  
 ○ニセコ地区農免農道整備事業  
 西山尾の連絡線道路改良工事  
 延長 九百米  
 幅員 七・〇米  
 事業費 九千二百万円  
 ○福井地区農免農道整備事業  
 福井南四号線道路改良事業  
 延長 二千米  
 幅員 七・〇米  
 名無橋架替工事二十一・八米  
 事業費 二千七百万円  
 ○近藤地区過疎農道整備事業  
 光栄通道路改良工事  
 延長 四百四十米  
 幅員 八・〇米  
 事業費 千四百四十万円

道々蘭越ニセコ倶知安線道路改良工事  
 延長 六百五十一米  
 幅員 五・五米  
 （倉地地先ノ道々まで）  
 事業費 七千四百万円  
 ○道々蘭越ニセコ倶知安線道路舗装工事  
 延長 二千四百米  
 幅員 五・五米  
 （倶知安境界ノ北榮に向つて）  
 事業費 六千八百万円  
 ○道々蘭越ニセコ倶知安線道路改良工事  
 延長 六百米  
 幅員 五・五米  
 （藤山小学校ノ蘭越に向つて）  
 事業費 四千万円  
 ○尻別川局部改保工事（用地調査買収）  
 延長 千米  
 事業費 一千万円  
 ○尻別川左岸石崎地先災害復旧工事  
 延長 百十三米  
 連絡ブロック  
 事業費 千四百万円

新入学（園）児を  
 交通事故から守る運動

新入学（園）児の交通事故防止  
 一 新入学（園）児を交通事故から守ろう

新入学（園）の時期となり、小さな身体に喜びを一杯表し通学（園）することも私たちの姿はいつ見てもほほえましいものです。  
 しかし、例年この時期には新入学（園）児の悲惨な交通事故が多発しておりますので、ごもたちを交通事故から守るため、次のことに注意しましょう。  
 △お母さん方へ△  
 ◎登校の準備

運動の重点  
 ○新入学（園）児童に対する交通安全指導と保護の徹底  
 ○安全運転の徹底と安全運転管理の充実  
 実施期間  
 昭和五十四年四月六日から昭和五十四年四月十六日まで

ここに、町議会並びに町民みなさんの一層のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。昭和五十四年度の予算編成にあたっての方針の説明といたします。

◎通学（園）路  
 ○通学（園）路を歩くことが一番安全であることを、ごもに話して聞かせてやりましょう。  
 ○登（下）校時間にあわせて、ごもも一語に通学（園）路を歩き横断歩道の渡り方や信号の見方などをその場で教え込むようにしましょう。  
 ◎遊びに行くとき、帰ったとき  
 ○学校から帰るときは、道草をしないでまっすぐ帰るよう指導しましょう。  
 ○帰宅後、遊びに行つてもよい範囲、場所及び帰宅時間などを決めておき、しっかりと守らせるようにしましょう。  
 ◎雨の日  
 ○服や雨具は、白や黄色など明るい目立つものにしなす。  
 ○もちは、できるだけ少なくして、ごもが身軽に行動できるようにしてやりましょう。  
 △ドライバーの皆さんへ△  
 ○表通りや、住宅地道路などでは、ごもが飛び出しを予測し、スピードをひかえて走行しましょう。  
 ○急進や後退時には、必ず周囲の安全を確認しましょう。  
 ○道路や踏切の近くなどで遊んでいるごもを見たときは、一声かけて安全な場所へ遊ばせるようにしましょう。

明日の準備は寝る前に必ずごもにさせ、その後で母親が確認するようにいたしましょう。  
 ○忘れ物がないか、登校前に必ず点検するくせをつけさせましょう。  
 ○早めに送り出して登校時間に余裕をもたせるとともに、出かけるにしっかりとすることがないようにしましょう。





### かつ血の応急手当

かつ血は、主に肺から出る血で、一昔前はすぐ肺結核を連想したのですが、今日では肺ガン、気管支拡張症、肺水腫なども疑われます。

胃や食道などの消化器からの出血(吐血)が、黒みがかつて食べ物まじつていたりするのに比べ、かつ血は鮮紅色でクワッやクタンクがまじつてることが多い。出血多量で死ぬことはまずありません。安静にしておけば出血は止まりますが、危険なのは窒息すること。頭を少し高めに寝かせて、血液が気道に吸いこまれないよう注意します。仰向けに寝かせたときは顔を横に向けます。患者の胸に耳を当ててみると、出血したほうの肺からはゼロゼロ雑音がきこえますし、患者もその側をあたたく感じてはいるはず。そのほうの肺を氷のうで冷やすと、楽になり、精神的にも落ち着きます。安静第一にし、できるだけ早く内科医に診てもらいます。

### 予防査察を実施します

組合消防署、支署では、四月一日から四月三十日まで予防査察のため各家庭、事業所等の立入検査を行います。

消防職員は査察に伺いましたら火災予防について、どんなことでも遠慮なく相談して下さい。

また、査察の際、指導を受けたところは必ずなおして下さい。

### 全道一斉に春の火災予防運動が実施されます

全道一斉に春の火災予防運動が行われます。

期間四月二十日から五月九日まで二十日間

統一標語「それぞれ持場で生かせ、火の用心」

雪融けとともに火災の最も起きやすい季節がやってきました。

火災は財産ばかりでなく人命までも

### 危険物取扱者の試験の実施

試験日 昭和五十四年五月二十七日

試験の種類 乙種第四類、丙種

試験地 俱知安町

受験願書の受付期間

昭和五十四年四月二日から

同二十一日までの二十日間

願書の提出先

後志支庁振興課企画係

受験申請用紙は、最寄り消防機関にあります。

どうばつています。その原因の殆んどが不注意から起つています。本年、組合管内で三月八日現在早くも五件の火災が発生し、一人の尊い人名を失ない、六千万円余りの損害を出しています。みんなが火の元に注意をして恐ろしい火事を出さないようにいたしましょう。

五月中旬頃、危険物安全協会で試験に対する予備講習会を開催する予定です。なお、不明な点は、後志支庁振興課企画係または最寄りの消防機関に問い合わせ下さい。

### 善意に感謝

#### 愛情銀行に預託

岡 勝彦さん (本通七) 十万円

香典返しを廃して

黒沢義夫さん (本通十) 二万円

全快祝を廃して

### 戸籍の窓口

(54年2月末現在)

男.....2,261人  
女.....2,408人  
計.....4,669人  
世帯数...1,302世帯

2月21日から  
3月20日まで  
(住民係窓口受付分)

### ご結婚おめでとう。



久保 信利=金野久美子 (福井)

### お誕生おめでとう。



八雄雄 (ニセコ) (宮田)  
一弘信 (本通6)  
吉利 啓 (福井) (本通11)  
敏 安 (黒川)

直樹 智人 (ニセコ) (宮田)  
有奈 珠紀 (福井) (本通11)  
千鶴 千鶴 (黒川)

### おくやみ申し上げます。



秀義 69才 (共栄) (本通6)  
てふ 78才 (本通7)  
ソマ 75才 (本通4)  
聡一 16才 (有島3)  
桐山 せつ 80才

### 町の目誌

- 3月
- 6日 保健委員会
- 7日 例月出納検査
- 8日 町議会議員立候補者予定説明会
- 9日 町土地開発公社理事会
- 10日 ニセコ高校卒業式
- 10日~12日 マキノ町スキー愛好者一同来町
- 12日~20日 町議会第二回定例会
- 13日 選挙管理委員会
- 15日 ニセコ中学校卒業式
- 20日 ニセコ保育所卒園式
- 22日 教育委員会
- 23日 ニセコ小学校卒業式
- 23日~25日 第57回全日本スキー選手権大会
- 23日~26日 第30回ニセコ滑降競技大会
- 27日 町結婚相談所運営協議会
- 29日 青少年問題協議会
- 30日 農業委員会
- 31日 選挙管理委員会